

卓 話

平成 25 年 2 月 19 日

「今 思うこと」

岐阜県中小企業団体中央会 会長
株式会社インフォファーム 会長
辻 正 様

私は現在、岐阜ロータリークラブ会員として 48 年在籍させて頂いています。

今日こうして皆様の前でお話をさせていただく機会を頂き、改めて今思うことは「感謝」の二文字であります。

私は学生時代、中国旅順に 2 年間居まして終戦後兄を訪ねて岐阜に引き上げて参りました。狭い日本に舞い戻り、今こうして生活できるのも皆様のお陰と感謝している次第です。その感謝の気持ちで岐阜県中小企業団体中央会会長を務めさせて頂いております。もう 18 年になります。その職務で勉強いたしました一端を紹介させていただきます。



はじめに全世界のほとんどが中小企業（資本金 1 億円以下・従業員数 300 名）だということです。ただし、中小企業の定義は業種別に「資本金と従業員数」で規程が異なりますが。岐阜県で 82,389 社。全企業の 99.9%。全国では 4,190,790 社。全企業の 99.7%。アメリカでは 2,240 万社（従業員数 500 名以下）で 99.9%。中国では 11,00 万社で 99%となっています。

また、日本の長寿企業は 200 年以上続く会社は 3,100 社。世界第 1 位で世界の長寿企業の 43%を占めています。岐阜では株式会社ナベヤさんで 450 年、雛屋林材株式会社さんで 250 年、平成薬品株式会社さんで 270～80 年となっています。

さて、国は平成 22 年に中小企業憲章を閣議決定しました。中小企業施策の基本理念、行動指針（下記に紹介）を策定し、具体的な取り組みを宣言致しました。

<行動指針>

1. 中小企業の立場から経営支援を充実・徹底する。
2. 人材の育成・確保を支援する。
3. 起業・新事業展開のしやすい環境を整える。
4. 海外展開を支援する。
5. 公正な市場環境を整える。
6. 中小企業向けの金融を円滑にする。
7. 地域及び社会に貢献できるよう体制を整備する。
8. 中小企業への影響を考慮し政策を総合的に進め、政策評価に中小企業の声を生かす。

最後に、現在経営環境は厳しい時代ではありますが、日本の中小企業の実力には世界の国々から、何かを取り入れたい、学びたいという期待は大きいと感じています。是非、自信を持って今後ともがんばって参りましょう。ありがとうございました。